

柏崎市立博物館友の会 ◆〒945-0841 新潟県柏崎市緑町8-35 赤坂山公園内 TEL 0257-22-0567

博物館モノがたり

平安時代の焼き物 — 灰釉陶器 緑釉陶器 —



人文展示室(考古)「土器の変遷」



灰釉陶器(小峯遺跡出土)



緑釉陶器(小峯遺跡出土 上:内面 下:外面)

令和6(2024)年は、「源氏物語」や、それを取り巻く平安時代の人々、生活・文化などに関心を寄せている人も多いでしょう。当時の人々が使っていた道具といえ、土師器や須恵器といった焼き物(土器)が歴史の教科書でもおなじみです。しかし、これ以外にも釉薬が施された陶器もつくられていました。人文展示室(考古)では、柏崎市半田のこみね小峯遺跡で発見された灰釉陶器の碗や緑釉陶器の皿も展示しています。

灰釉陶器は植物灰を原料とした釉薬を用い、高火度で焼成したものです。おもに東海地方で生産されました。また、緑釉陶器は比較的融点が高い鉛や銅を主成分にした釉薬を用いたものです。畿内・東海・近江(滋賀県)・防長(山口県)で生産されていました。これらは、当時輸入された中国の焼き物をまねてつくられ始めたもので、やがて広い地域の人々によって使われるようになります。新潟県内でこれらが発見された遺跡は平安時代における官衙(役所)の施設や地域の有力者との関わりが指摘されているので、当時の歴史を考える上では欠くことのできないものといえるでしょう。

小峯遺跡は、平成12(2000)年度の発掘調査によって、平安時代前期(9世紀後半頃)の遺構や遺物が発見されました。展示している灰釉陶器・緑釉陶器(写真)もその頃の製品です。比較的大きな掘立柱建物跡もあり、在地で勢力を持っていた「富豪層」と呼ばれる者の存在が考えられます。この時期は、軽井川南遺跡群で鋳物が行われるなど、鉄づくりも盛んになっていました。当時の柏崎にはどのような人物がいたのか、どのような背景で鉄づくりが行われていたのかなど、地域の歴史を探る手掛かりになります。そうです。「源氏物語」がつくられる100~150年前のことでした。

(伊藤 啓雄)

学芸員のオタク講座⑤ 新潟県の双体道祖神 —その歴史と魅力—

12月9日(土) 13時～15時 参加者19名

第5回目のオタク講座は、新潟県石仏の会の事務局も務める渡邊学芸員の、新潟県の双体道祖神についての講義でした。座学では参加者たちの道祖神への理解が深まり、大きく傾く様子が度々見られました。後半は特別展示室にて開催中されていた新潟県石仏の会の創立30周年記念写真展へ向かい、柏崎市内や県内各地にある道祖神の写真をしながら姿態分類や意味合いを学んだり、同時開催で展示のあった藁や木などの人形道祖神を見ながら道祖神信仰の普及についても学びました。講座の終了時刻になっても質問がしばらく絶えず、参加者たちの関心の深さが感じ取れました。



もうすぐお正月 八丁紙づくり

12月21日(木)～26日(火) 参加者18名

毎年恒例の八丁紙づくり、今年は予定の2日間が大雪に見舞われ、特に2日目にご予約されていた方がご来館できない状況になったため期間を延長して開催しました。初日は午前中から綿雪が降り始めて不安な天候でしたが、雪国暮らしの逞しい方々にご来館いただき、終日人が途切れることなく作業をしていただきました。以前に八丁紙づくりをしたことのある方も数名いて、手慣れた様子でさくさく進められていました。そして大雪後の延長した期間中には、非会員の方も多く参加され、新年の龍の絵柄や縁起の良い気に入った絵柄を選んで作業をされました。完成した八丁紙を手、「近所の人に配ると喜ばれるから嬉しい」「これでお正月の準備ができた」との声があり、皆さん喜ばれていました。



布ぞうりづくり

1月28日(日) 9時～15時 参加者7名



布ぞうり作りを教えて下さったのは、からむし倶楽部(高柳の手づくり仲間)の吉田眞子さんです。吉田さんは材料の、浴衣の裂いた物(しかもアイロンをかけていただいて)をたくさん用意してくださり、受講生は、好きな色・柄を選んで取りかかることができました。また、鼻緒も作っていただいております、至れり尽くせりでした。午前中に一足の片方が出来、午後からもう片方が出来るという具合に、ちょうど良い時間配分でした。講師に上手に誉めてもらいながら、また、時折笑いを誘う話芸に、受講生の間では終始笑顔が飛び交い、和気あいあいとした楽しい講習会でした。吉田さんは数年前にこの博物館で、谷根の方々に布ぞうり作りを教わっていて、今回、講師として帰ってらっしゃったとのこと。この日の受講生の中からも、次の講師として帰ってこられる方が出てくるかも…?(会員 渡邊ミドリ)



友の会行事報告

学芸員のオタク講座⑥ 縄文時代のムラと暮らし 2月3日(土) 13時～15時30分 参加者8名

第6回目のオタク講座は、埋蔵文化財事務所の品田学芸員による、柏崎平野南部丘陵地域を中心とした縄文時代のムラと暮らしについての講義でした。縄文人の生業である^{おと}陥し穴猟のことや、品田学芸員が唱える住居の仮説も含めた柏崎平野の縄文集落のことを、想像を膨らませて深く聞くことができました。参加者からも質問が出たりと熱心に学ぶ姿勢が見られました。この春で退職される品田学芸員の最終講義だったこともあり、予定時刻を超える、熱のこもった講座となりました。



季節の和菓子 桜餅をつくる

2月21日(水) 9時～12時 参加者13名

テレビでは例年より早く満開となった河津桜が終わりを告げるニュースが流れる中、剣野コミセンにて2種類の桜餅づくりを体験しました。講師は鶴屋菓子店主の金子豊さん。一品目は、講師が焼き皮の基となる液を作り、その後参加者から杓子一杯分の液をホットプレートに落とし、クレープのように薄く伸ばし生地を焼きました。そして、桜の葉の上に焼き皮と餡を載せ、包むまでの焼き皮桜餅を3個作りしました。二つ目は、餡を蒸した餅米で包む桜餅作りです。手の平の中で餅米の中に餡を押し込むように包む作業は講師先生の指導で3つ目、4つ目はうまく包めましたので、今年の笹団子づくりに生かしたいと思います。作った桜餅は、昼食と夕食のデザートで食べましたが、小豆大好きな私としては最良の日となりました。(編集委員 田村光一)



4月～6月の友の会行事案内



春の山野草めぐり

可憐な春の草花たちとの語らいを楽しめます。春の女神と呼ばれるギフチョウが舞い、スミレ類(4種)・タンポポ類(2種)・サクラ類(3種)など春の花が最盛期を迎えています。

日 時 4月18日(木) 9:30～11:00(雨天中止)

集 合 夢の森公園駐車場

講 師 布施公幹氏

定 員 15名(先着順)

参加費 会員無料 非会員500円 用 意 水筒、山歩きの服装



アリアケスミレ

笑う門には 微笑みの木喰仏めぐり —長岡・小千谷編—

日 時 4月27日(土) 8:30～16:00

集 合 アルフォーレ前駐車場(赤レンガ風トイレ前)

見学地 小国町・真福寺(2.5mの仁王像・梨木観音・金毘羅像)
小千谷市・小栗山木喰観音堂(行基菩薩・大黒天像+西国三十三観音像)
長岡市上前島・金毘羅堂

(通称「流れ木喰」自刻像・金毘羅像+秩父三十四観音像)

昼 食 小千谷そば・わたや平沢店(野菜天ざるそば)

定 員 20名(先着順)

参加費 会員6,500円 非会員8,000円(バス・拝観料・昼食代含む)



真福寺の仁王像
(阿像)



旧長岡街道 西山妙法寺街道 (沖見峠)を歩く

旧道にひっそり佇む石仏を見ながら良寛の歌で知られる沖見峠(片道30分)を目指します。

日時 5月10日(金) 9:00～12:00

集合 アルフォーレ前駐車場
(赤レンガ風トイレ前)

移動 現地へは館公用車
3台で移動

定員 12名(先着順)

参加費 会員無料
非会員500円

用意 水筒、山歩きの服装 沖見峠に立つ地藏



深緑の森でバードウォッチング

緑深まる鶴川の自然の中で野鳥たちの姿と轉りを楽しみます。

日時 5月17日(金) 8:30～11:00

集合 綾子舞会館前駐車場

講師 かしわざき野鳥の会の皆さん

定員 12名(先着順)

参加費 会員無料
非会員500円

用意 水筒、山歩きの服装



学芸員のオタク講座⑦ 中世のおかね ——一括出土銭から考える——

鎌倉～室町時代の遺跡では、1か所から大量の銭貨(おかね)が発見されることがあります。このような一括出土銭から当時のおかねについて解説します。

日時 5月25日(土) 9:30～11:30

会場 博物館小ホール及び展示室

講師 伊藤啓雄学芸員

定員 15名(先着順)

参加費 入館料300円
※招待券使用可



秘境・秋山郷の大地と 歴史を歩く ——苗場山麓ジオパークめぐり——

奥信越の川と火山が作りだした自然と歴史文化を現地ガイドの案内で体感します。

日時 6月8日(土) 8:30～16:30

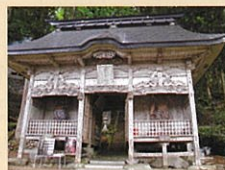
集合 アルフォーレ前駐車場
(赤レンガ風トイレ前)

見学地 津南町農と縄文の体験実習館なじょもん、見玉不動尊と石落し(柱状節理)、結東の石垣田、見倉橋(吊り橋)、小赤沢集落散策、龍ヶ窪の池ほか

昼食 秘境の味 萌木の里の特注ランチ

定員 20名(先着順)

参加費 会員7,500円 非会員9,000円
(バス・ガイド料・昼食代含む)



見玉不動尊(仁王門)



龍ヶ窪の池

学芸員のオタク講座⑧ 縄文人の祈りのかたち

土器の文様や土偶と石棒、^{うめがめ}埋甕風習などを紹介しながら、そのかたちに込められた人々の祈りや願いを探っていきます。

日時 6月22日(土) 13:00～15:00

会場 博物館小ホール及び展示室

講師 中野純学芸員

定員 15名(先着順)

参加費 入館料300円 ※招待券使用可



お申込み方法

電話で友の会事務局(22-0567)にお申込みください。その際、参加者全員のお名前、連絡先(できれば携帯番号)、友の会会員か非会員かをお知らせください。

参加者募集

編集後記

新年早々1月1日、PM4:10分地震! 柏崎は震度5強!すごい揺れ、心臓がバクバクした。テレビで能登半島地震有り、珠洲市、輪島、七尾がM7.6 震度7の大災害で津波警報が5mと言う。上越も津波で大変な被害に遭っていた。柏崎は40cmの津波があったようだ。

毎日のテレビはどこも能登地震の映像ばかりで胸が苦しい。亡くなられた方230人以上との事、日本は何と地震の多い国だろうか。夜寝る時どうか今晚も静かに寝られます様にと祈らずには居られない。

年明けから気持ちが重くなる話ばかりで何とか明かりを!と皆さんお考えと思います。友の会では楽しい行事も予定されています、ドシドシ参加くださり会員の皆様と親交を深めて活気のある友の会にいたしましょう。

(編集委員 今井榮子)